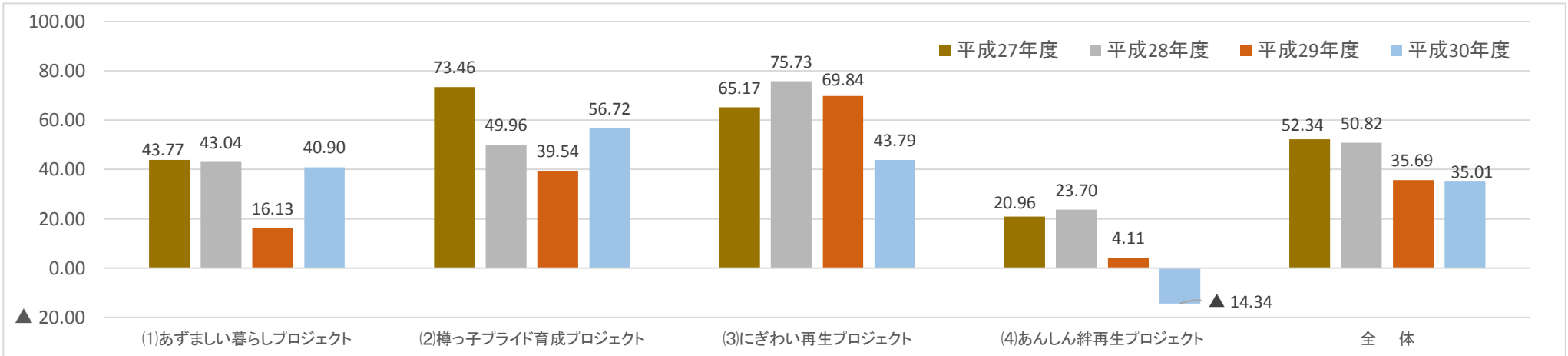


第1期小樽市総合戦略の平成30年度実績について

資料1

各プロジェクトのスコア（その年度の目標値に対する達成度）推移

※スコアの算定方法は、別紙参照



平成30年度について

【】はスコア

(1)あずましい暮らしプロジェクト

- ・ No.7特定空家除却等件数【0→68】、No.8排雪依頼件数【▲100→100】の改善により、前々年度並みに回復
- ・ スコア80以上が約4割（6/16）あるが、No.11空き家マッチングなど実績がないものが影響
- ・ No.4起業者定住促進事業は2年連続基準値を下回ったが、対象要件となる商人塾受講生の増加策は講じている（18人→70人）

(2)樽っ子プライド育成プロジェクト

- ・ No.17 イングリッシュキャンプ【35→100】、No.19キャリア教育推進事業【▲8→100】、No.30新規高卒者市内就職率【▲100→17】などの改善により、平成28年度を超える進捗
- ・ スコア80以上が約半分（9/19）と多く基準値以下も少ない（2/19）。2年連続基準値を下回るものはないが、スコア30前後（6/19）も多く二極化

(3)にぎわい再生プロジェクト

- ・ No.37イベント来場者【▲20→▲100】、No.40小樽産農産物PR事業【100→0】、No.45地域経済交流促進事業【100→▲33】、No.46小樽産品商品力・販売力向上【20→▲100】などが前年より悪化したことにより全体のスコアを引き下げているが、天候不順や地震による影響など、外的要因が多い。
- ・ No.33小樽港取扱貨物量は基準値を下回った状況が続いているが、過去4年間では一番の取扱量。
- ・ その他は概ね前年並みの進捗となっているが、地震の影響からか、観光関係で若干の悪化が見られる（No.36国内外観光客受入、No.42観光客入込客数）

(4)あんしん絆再生プロジェクト

- ・ 概ね前年度までの傾向にしたがって推移しているが、No.53老壮大学学生数【100→▲100】の影響が大きく、全体スコアがマイナス
- ・ スコア80以上が2/15と少ない。2年以上連続で基準値を下回るのは、No.50ガン死亡比、No.54消防団員数、No.58地域コミュニティ活動支援、No.60銭函市民センター、No.61三市区連携事業胃内視鏡検査の新設や機能別消防団員の導入検討など、進捗に向けて事業内容の見直しや検討などを行っている。